



災害・被ばく医療科学分野の人材育成による 知の交流拠点構築事業

長崎大学（共同申請：福島県立医科大学、福島大学、東日本国際大学）
連携自治体：福島県川内村、富岡町、大熊町

事業概要

長崎大学が復興推進拠点を設置している川内村、富岡町や大熊町において、福島県立医科大学や福島大学、東日本国際大学といった**福島県下の大学**、さらに**国際機関と連携して世界中の災害・被ばく医療科学の専門家**を育成する「復興知を学ぶ」知の交流拠点を浜通りに構築します。

5年間の人材育成目標

1. 災害・被ばく医療科学分野の正しい知識を持ったうえで、**福島**の復興、発展を主導できる**人材**を育成します。
2. 浜通りにおいて災害・被ばく医療科学の実践を学び、**国内**において本分野を担う**人材**に加えて、**グローバル**に本分野を担う**人材**を育成します。

今年度の活動内容と課題

1. 福島県立医科大学、福島大学、東日本国際大学と連携して**福島県下の若者世代を対象とした放射線についての集中セミナー**をオンラインで開催しました。
2. **世界各国の災害・被ばく医療科学の研究者が参加する国際セミナー**を川内村においてオンラインで開催しました。
3. **原発立地自治体職員を対象とするセミナー**を開催し、原子力災害からの地域復興における住民、行政、専門家や企業等との連携の重要性について学んでいただく予定です。
4. コロナ禍のため、当初予定していた実地でのセミナーが開催できませんでしたが、オンライン開催を行うことで、より多くの方に参加してもらうことができました。

International Advanced Training Course
on Stakeholder Engagement for Recovery after Nuclear Disasters

The objective of the course is to acquire knowledge and practical experience of the 'co-expertise' model developed by Nagasaki University in cooperation with the Kawauchi Village to Support the rehabilitation of the living conditions in the affected areas by the Fukushima accident.

Date / Venue
11-15 October 2021
Online (Webex Meeting) and / or VOD (Video on Demand)

Participants
Young professionals involved in research or preparedness work related to the recovery process after a nuclear accident.

11-15 October 2021



2年目の事業内容及び取り組みの方向性

1. 川内村、富岡町、大熊町に加え、**今後帰還を開始する双葉町との連携を強化**します。
2. **原発立地、および周辺自治体の職員や教員**を対象としたセミナーを川内村からオンラインで全国に発信します。
3. 福島県立医科大学、福島大学、東日本国際大学、さらには**世界保健機関（WHO）や国際放射線防護委員会（ICRP）**といった**国際機関と連携**して、世界の災害・被ばく医療科学分野の若手研究者、専門家の人材育成を進めていきます。